

## 会長挨拶

日本医療マネジメント学会  
第19回宮崎県支部学術集会会長  
宮崎県立宮崎病院 院長 眞柴 晃一



日本医療マネジメント学会宮崎支部学術集会は、県立宮崎病院の豊田清一院長が2007年9月16日に第1回宮崎支部学術集会を開催しました。その後、県下の中核病院が持ち回りで集会を開催し、会員及び医療関係者の知識や技術の向上を図ってきました。

今年度は当院が担当となり、第19回目となる学術集会を2027年2月27日(土)に開催させていただくことになりました。

今回のテーマは、「地域のウェルビーイングを高める医療連携」です。

近年、超高齢社会の進展や疾病構造の変化に伴い、患者様やそのご家族が求めるニーズは多様化しています。医療機関単体がどれほど高度な医療を提供しても、住み慣れた地域でその人らしい尊厳を持った生活を継続し、心身ともに満たされた状態(ウェルビーイング)を実現することは困難です。

地域に暮らす人々のウェルビーイング(Well-being:身体的・精神的・社会的に良好な状態)を向上させるためには、急性期医療から回復期、慢性期、在宅医療、そして介護や福祉、さらには地域社会(コミュニティ)へと途切れなくつながる包括的な仕組みが不可欠です。このつながりの核となる「医療連携」に焦点を当て、特別講演、パネルディスカッション、一般講演、クリティカルパス展示を行い、県民の健康と福祉の充実に寄与できる学術集会にしたいと考えております。

当日は、日々のマネジメントの工夫や多職種連携の成功事例、課題解決に向けた取り組みなど、それぞれの施設で行われていることを気軽に発表いただき、活発な議論が交わされることを期待しております。

本会を通じて得られた知見やネットワークが、参加される皆様の明日からの現場に活かされるよう実りある学術集会となることを願っています。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。